

せんだい3・11メモリアル交流館が全館開館しました

2月13日、東日本大震災の記憶と経験を未来や世界へ伝える拠点として、地下鉄東西線荒井駅舎内に「せんだい3・11メモリアル交流館」が全館開館しました。12月から先行して開館している1階には交流スペースがあり、東部沿岸地域の情報発信を行います。2階には、震災前の東部沿岸地域の



祝開館
せんだい3.11メモリアル交流館
Sendai 3.11 Memorial Community Center

▲開館式でのテープカット
◀2階展示室には、写真やパネル、沿岸地域の模型などを展示（32ページ参照）



の風景や震災からの復旧・復興をさまざまな形で伝える展示室と、市民活動に利用できるスタジオ（会議室）を設置。屋上は休憩スペースとして開放し、イベントなどにも利用できます。前日の12日に行われた開館式では、行政機関や地域団体の方など63人が出席。奥山市長は「未来に向けてつながりを作る拠点になると期待しています」とあいさつしました。その後、式典参加者や地元町内会の皆さんを対象とした見学会が行われました。今後も交流館を拠点に、地域や市民団体等の皆さんとともに、講座・イベントの開催や、語り部養成、東部沿岸地域視察のモデルコースづくりなどを行ってまいります。

せんだい3・11メモリアル交流館

●所在地 若林区荒井字杏形85-4（地下鉄東西線荒井駅舎内） ☎390・9022 ●開館時間 午前10時半～午後5時（土・日曜日、祝日は午前10時） ●休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始

復興へ駆ける

5年目の春に

仙台市長 奥山恵美子



東日本大震災では、被災地全域で約1万6千名の方がお亡くなりになり、今なお行方不明の方が約2500名いらっしゃいます。本市においても、1002名の市民の方（災害関連死を含む）がその尊い生命を失われました。多くのご家族や友人の方々が、哀切の念とともに5年の歳月を過ごされてきたと拝察しますが、とりわけ、瞬時に親御さんを失い震災孤児となった幼い子どもたちの打撃は、計り知れないものだったと思います。こうした孤児の皆さんが平穏な暮らしを回復できるよう、31名の方について、施設や里親の方、学校、児童相談所、民間団体の方々が連携し、見守りと支援を行ってまいりました。震災から5年が経過し、当時の子どもたちは高校生や大学生になり、また、すでに社会人になった方もおおいです。皆さんの暮らしぶりについて、最近うれいニュースを耳にしました。中学校でサッカーをがんばり、区中総体で3位になった方がい

たことや、バドミントンの選手として活躍している方がいること。また、専門学校で学び、アパートを借りて一人暮らしを始めるなど将来への夢を育てている方や、国立大学へ入学し、公認会計士を目指している学生さんがいることなどです。こうしたお子さんを長期的に支援してきた多くの方の力があつたことも忘れてはなりません。あしなが育英会は、阪神淡路大震災後の経験を踏まえ、五橋に「東北レインボーハウス」を建設。同じ境遇の孤児や遺児たちが出会い、スポーツや料理などを通じて仲間づくりを進める活動を展開されていますし、個別指導塾の株式会社セレクトイーは、財団を設立し無償の学習支援を続けてくださっています。それでも、思春期を迎える子どもたちへの対応には、里親の皆さんもさらに試行錯誤の時が続くことでしょう。泣き笑いの日々の向こうに、確かな自立への道が広がるよう、見守りと支援を続けてまいります。

起業家を応援するイベント「仙台起業家週間」を開催

市では1月22日から31日を「仙台起業家週間」と位置付け、起業・創業を支援するイベントを集中的に開催しました。

1月24日に東北大学川内萩ホールで開催された「SENDAI for Startups 2016」では、著名な起業家による基調講演や公開討論会、交流会が行われ、757人が参加しました。



起業の魅力や醍醐味、仕事のやりがいなどが紹介されたSENDAI for Startups! 2016

このほか、仙台・宮城で事業化を目指す起業家のビジネスプランを募集・表彰する「ビジネスグラプリ2016」の受賞者による発表会や女性起業家の交流会など、計12のイベントが開催され、約

3千人の方が参加しました。

2月1日には、卸町に起業家育成・支援施設「INTILAQ東北イノベーションセンター」が開館。この施設は、カタール国からの震災復興支援により設置されたもので、イベントスペースや事務室のほか、宿泊スペースも備えています。今後、東北地方の起業家や学生、生産者など、新しいビジネスの創出を志す方たちの拠点となる予定です。

市では「日本一起業しやすいまち」を目指し、今後も取り組みを進めていきます。

G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議100日前イベントを開催

5月20日・21日に秋保地区で開催される「G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」の100日前を記念したイベントが、2月9日、TKPガーデンシティ仙台（アエル30階）で行われました。

G7の概要や仙台開催の意義などについて講演や公開討論会が行われ、訪れた市民ら約1200人は、真剣に耳を傾けていました。

世界の金融・経済政策を話し合う重要な国際会議の成功に向けて、今後も関係機関と連携しながら準備を進めていきます。

高校生に選挙出前授業を行っています

今年の夏の参議院議員通常選挙より、選挙権を持つ年齢が18歳に引き下げられる見込みです。市では、新たに有権者となる高校生に、選挙の仕組みや投票の意義について理解を深めてもらうため、高等学校等で出前授業を行っています。

1月19日に仙台工業高等学校で行われた授業には、3年生177人が参加。期日前投票の概要や投票用紙の記入方法について説明を受けた後、模擬投票を行いました。今後3月上旬まで、高等学校等で計12回の出前授業を実施します。



仙台市スポーツ賞表彰式

2月2日、「仙台市スポーツ賞」の表彰式が行われました。この賞



東宮城野小学校の卓球・張本智和選手



明成高等学校男子バスケットボール部・井上駿選手

は、昨年1年間にアマチュアスポーツの分野で優秀な成績を収めた方や、本市のスポーツ振興に貢献された方に贈られるものです。スポーツ大賞は、第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会で3連覇を成し遂げた明成高等学校男子バスケットボール部が受賞しました。また、スポーツ栄光賞は、平成27年度全日本卓球選手権大会において6連覇を果たした張本智和選手（東宮城野小学校6年）ほか45組が受賞しました。このほか、優秀賞、奨励賞を計52組に贈呈しました。